

申請者氏名	柏木 一公	会員番号	0032714
申請者の所属・職名	慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室		
出席会議名	Third Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society CYTOKINES 2015		
発表論文 タイトル	TGF- β Expression Is Triggered by Gram-positive Bacterium Clostridium butyricum and Promoted by Autocrine Effect Mediated by Smad3 in Dendritic Cells		

実施結果:

2015年10月11日から14日まで、ドイツの都市バンベルクで開催された国際サイトカイン・インターフェロン学会 (ICIS) に、及び同15日から16日までスウェーデンの首都ストックホルムで開催されたカロリンスカ炎症免疫ネットワーク (KiiM) に参加させていただきました。

国際サイトカイン・インターフェロン学会は1983年に国際インターフェロン学会として創設された由緒ある国際学会です。その後には現在の国際サイトカイン・インターフェロン学会と改称され、複雑多岐にわたるサイトカインのシグナルを基礎から、そして臨床から様々な視点で議論が行われる権威ある学会の1つとして知られております。本学会において私は「TGF- β Expression Is Triggered by Gram-positive Bacterium Clostridium butyricum and Promoted by Autocrine Effect Mediated by Smad3 in Dendritic Cells」というタイトルでTGF- β の発現機構についてポスター発表を行いました。TGF- β の発現のメカニズムはこれまでに多くの研究がなされているもののまだ明らかになっていない部分が多く、本研究では腸内細菌及び腸内免疫のバランスにおけるTGF- β の役割という切り口からの解明に挑みました。会場には多くのサイトカインの専門家があり、実験データや新たな仮説など貴重な助言をたくさん得ることができとても有意義な経験となりました。

カロリンスカ炎症免疫ネットワークはカロリンスカ研究所に所属する免疫関連の研究チーム、総勢250人以上が一同に会する大規模なリトリートです。毎年ストックホルム郊外の宿泊施設で行われており、2015年開催で8回目を数えます。私は共同研究者であるRottenberg教授とのディスカッション及び交流を持つため本研究会にも引き続いて参加させていただきました。本研究会においても同様のタイトルでポスター発表を行い、ICISとは異なる若い大学院生やポスドクたちとの活気あふれる討論を経て、多くのことの気づかされるとともに一層研究への意欲が内側から溢れてくるような気持ちにさせられました。

今回、Tadamitsu Kishimoto International Travel Awardから補助を受けてこれらの学会に参加させていただきました、研究成果を発表することができました。この場をお借りして御礼を申し上げますとともに、今回の体験を今後の研究生活に大いに役立てていきたいと思っております。